

平成 25 年度 年度末建設業パトロール

1月から3月の時期は年度末であり、公共土木工事、民間建築工事、製糖期等が集中し、あわただしいこの時期、建設業の無災害に向け、宮古労働基準監督署と建設業労働災害防止協会沖縄県支部宮古分会は、2月26日（水）宮古島市内において官民合同建設業安全パトロールを実施しました。

パトロールでは、災害等の防止に向け、伊良部大橋建設現場や共同住宅建築工事現場等において、高所からの墜落災害、建設用重機による挟まれ災害等の防止対策の点検を行いました。また、平成26年に展開されている「移動式クレーン転倒災害撲滅運動」の周知も行いました。

参加者から「現場の通路等表示が分かりやすかった」「現場での安全水準は向上している」、「足場材腐食等不備が認められた」等の報告がありました。

出発式



伊良部大橋



伊良部大橋



報告会



- 平成 25 年の宮古地区における休業 4 日以上災害（速報値）は、「ゼロ」でした。